



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 利光 一浩 (TEL) 052-963-7501  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	252,476	△6.4	13,711	△18.2	13,711	△22.0	11,257	4.6
2019年3月期第2四半期	269,643	11.8	16,752	△10.5	17,569	△4.1	10,759	△9.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 7,863百万円(△32.8%) 2019年3月期第2四半期 11,694百万円(△39.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	264.08	—
2019年3月期第2四半期	252.38	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	651,112	328,419	45.0
2019年3月期	650,697	318,140	43.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 293,276百万円 2019年3月期 285,508百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00
2020年3月期	—	55.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	65.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	493,000	△9.3	29,000	△14.2	29,000	△15.6	21,500	1.5	504.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	43,448,769株	2019年3月期	43,448,769株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	819,720株	2019年3月期	819,275株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	42,629,272株	2019年3月期2Q	42,630,727株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足説明資料	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産は弱含みで推移しましたが、雇用環境の改善や企業収益の底堅さを背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。また、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速、英国のEU離脱問題など、不安定な世界情勢から先行きは依然として不透明な状況が継続しました。

このような経済環境の中、特殊鋼の主要需要先である自動車関連向けの受注は、グローバルでの生産減少を受け、前年同期比で減少しました。また産業機械向けの受注も減少基調が継続し、半導体関連の分野では在庫調整も伴い、受注は大幅に減少しました。その結果、鋼材売上数量は前年同期比で減少しました。原料・資材関係では、鉄屑価格は国内需給の緩和により第2四半期より大きく低下しましたが、製鋼工程で使用する黒鉛電極等副資材価格は上昇し、エネルギーコストも増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は前年同期比171億67百万円減収の2,524億76百万円、経常利益は前年同期比38億58百万円減益の137億11百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、固定資産売却益等により前年同期比4億98百万円増益の112億57百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連のグローバルにおける生産減少、産業機械向けの需要減速により前年同期比で数量が減少しました。工具鋼も、自動車関連の減少を受け数量が微減となりました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、国内需要の緩和により下落しましたが、エネルギーコストは増加、製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格も高止まりしました。販売価格は、昨年度実施した価格改定により上昇しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の減少により前年同期比4.8%減少の971億17百万円となりましたが、営業利益は売価改定及び鉄スクラップ価格の下落が寄与し、前年同期比10億76百万円増益の32億15百万円となりました。

#### ②機能材料・磁性材料

ステンレス鋼・高合金は、自動車向けは燃費改善に向けた動きの中で需要が堅調に推移しましたが、半導体製造装置向けの落ち込み、中国経済減速による産業機械向け減少により、また磁石製品は、中国自動車販売の減少等を受け、それぞれ在庫調整の動きも伴い減少しました。粉末製品は、海外需要の減少により売上高が減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、売上数量の減少により前年同期比8.6%減少の846億93百万円、営業利益は内容構成悪化等も加わり前年同期比44億55百万円減益の69億46百万円となりました。

#### ③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、半導体関連需要が減少しましたが、プラント関連需要が堅調に推移し、売上高は前年同期比で増加しました。エンジンバルブ部品は、傘中空バルブなどの数量増加により売上高は前年同期比で増加しました。型鍛造品は、自動車生産の減少を受け、精密鍛造品は、中国自動車の販売減少に伴うターボ関連製品の需要が減少し、売上高は前年同期比で減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、売上数量の減少により前年同期比9.9%減少の499億28百万円、営業利益は前年同期比5億14百万円減益の6億20百万円となりました。

## ④エンジニアリング

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.3%減少の123億61百万円となりましたが、営業利益は内容構成良化により前年同期比7億70百万円増益の15億24百万円となりました。

## ⑤流通・サービス

新規連結会社の増加により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比22.2%増加の83億75百万円、営業利益は前年同期比72百万円増益の14億9百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ4億15百万円増加し6,511億12百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、「現金及び預金」の増加47億15百万円、「有形固定資産」の増加147億85百万円、減少の主な内訳は、「受取手形及び売掛金」の減少113億1百万円、「投資有価証券」の減少62億57百万円です。

なお、第1四半期連結会計期間より連結決算の開示内容の充実およびグループ経営の強化を図るため、前連結会計年度において非連結子会社でありました28社を連結の範囲に含めております。この変更により、主として「現金及び預金」、「たな卸資産」、「有形固定資産」が増加し、新規連結に伴い関係会社株式が減少したため「投資有価証券」は減少しております。

新規連結の影響を除いた総資産の増減の主な内訳と要因は、下記のとおりであります。

- ・「受取手形及び売掛金」および「たな卸資産」は、主として売上減少により減少しております。
- ・「有形固定資産」は、当社の連続鑄造設備合理化、工場用地取得等により増加しております。
- ・「投資有価証券」は、保有株式の時価の下落により減少しております。

また、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産額は、前期末に比べ102億79百万円増加し3,284億19百万円となりました。純資産の増加の主な内訳と要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益112億57百万円の計上等による「利益剰余金」の増加114億51百万円、減少の主な内訳と要因は、保有株式の時価の下落による減少等による「その他有価証券評価差額金」の減少28億41百万円です。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は45.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の世界経済は、米中貿易摩擦の不透明感から景気減速への懸念が高まっており、景気は弱含みで推移することが見込まれています。また英国によるEU離脱問題や地政学的な緊張の高まりも、景気下振れのリスク要因となっております。日本経済においても米中貿易摩擦の長期化を受け、生産や輸出の弱さは継続すると見込んでいます。こうした経済環境の中、主要需要先である自動車関連は、グローバルでの生産が前年度対比で減少する見込みであり、産業機械向け受注も景気減速に伴う減少が見込まれます。

一方、原材料となる鉄スクラップ価格は国内需給の緩和を受け低位で推移する見込みであり、受注量減少のマイナス面を相殺することが見込まれます。

先行き不透明な経営環境ではありますが、当社グループは中長期的な成長を目指し、中期経営計画の行動方針であるポートフォリオ改革、事業基盤の強化、事業の再構築を着実に進めてまいります。それとともに、市場の変化・お客様の動向を常に注視し、その変化にも対応してまいります。

当期の連結業績につきましては、当第2四半期累計期間の業績および最新の受注動向、原燃料市況等を反映させ、前回(2019年4月26日)公表した業績予想を修正しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,734	46,449
受取手形及び売掛金	118,601	107,300
電子記録債権	14,198	16,351
たな卸資産	132,546	131,004
その他	6,062	5,799
貸倒引当金	△62	△53
流動資産合計	313,081	306,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	81,738	82,631
機械装置及び運搬具（純額）	93,850	102,728
その他（純額）	50,489	55,503
有形固定資産合計	226,078	240,863
無形固定資産		
1,502	1,502	1,487
投資その他の資産		
投資有価証券	87,110	80,852
退職給付に係る資産	14,801	14,813
その他	8,268	6,380
貸倒引当金	△145	△138
投資その他の資産合計	110,035	101,908
固定資産合計	337,616	344,260
資産合計	650,697	651,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,576	43,258
電子記録債務	35,785	26,782
短期借入金	74,972	56,772
コマーシャル・ペーパー	8,000	20,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	5,372	5,315
賞与引当金	7,845	7,830
その他の引当金	1,752	1,258
その他	25,787	23,138
流動負債合計	221,091	184,355
固定負債		
社債	20,000	35,000
長期借入金	61,301	72,497
その他の引当金	3,965	4,013
退職給付に係る負債	10,330	10,635
その他	15,868	16,190
固定負債合計	111,465	138,337
負債合計	332,557	322,692
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	30,285	30,448
利益剰余金	203,299	214,751
自己株式	△3,651	△3,653
株主資本合計	267,106	278,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,495	14,653
繰延ヘッジ損益	△0	△24
土地再評価差額金	1,537	1,537
為替換算調整勘定	983	492
退職給付に係る調整累計額	△1,614	△2,102
その他の包括利益累計額合計	18,402	14,557
非支配株主持分	32,631	35,142
純資産合計	318,140	328,419
負債純資産合計	650,697	651,112

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	269,643	252,476
売上原価	224,284	210,167
売上総利益	45,358	42,309
販売費及び一般管理費	28,606	28,597
営業利益	16,752	13,711
営業外収益		
受取利息	91	99
受取配当金	975	975
持分法による投資利益	520	375
その他	791	432
営業外収益合計	2,377	1,882
営業外費用		
支払利息	481	418
固定資産除却損	309	326
環境対策引当金繰入額	64	295
為替差損	255	222
その他	448	619
営業外費用合計	1,560	1,882
経常利益	17,569	13,711
特別利益		
固定資産売却益	—	7,441
投資有価証券売却益	28	33
特別利益合計	28	7,474
特別損失		
固定資産圧縮損	—	2,772
投資有価証券評価損	—	667
投資有価証券売却損	27	—
その他	—	259
特別損失合計	27	3,699
税金等調整前四半期純利益	17,570	17,485
法人税、住民税及び事業税	5,614	5,611
法人税等調整額	79	105
法人税等合計	5,694	5,717
四半期純利益	11,876	11,768
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,116	511
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,759	11,257



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	11,876	11,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	648	△2,752
繰延ヘッジ損益	△1	△23
為替換算調整勘定	△769	△647
退職給付に係る調整額	△55	△456
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△25
その他の包括利益合計	△181	△3,905
四半期包括利益	11,694	7,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,667	7,387
非支配株主に係る四半期包括利益	1,027	475

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	17,570	17,485
減価償却費	11,453	12,022
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△15
賞与引当金の増減額(△は減少)	△56	△93
その他の引当金の増減額(△は減少)	△261	△315
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△299	△817
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	448	429
受取利息及び受取配当金	△1,066	△1,074
支払利息	481	418
為替差損益(△は益)	△60	24
持分法による投資損益(△は益)	△520	△375
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△33
投資有価証券評価損益(△は益)	—	667
有形固定資産除却損	337	492
有形固定資産売却損益(△は益)	△25	△7,609
固定資産圧縮損	—	2,772
売上債権の増減額(△は増加)	712	10,575
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,048	5,101
仕入債務の増減額(△は減少)	2,899	△18,828
その他	944	△993
小計	17,515	19,832
利息及び配当金の受取額	1,249	1,275
利息の支払額	△479	△440
法人税等の支払額	△7,826	△5,610
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,458	15,057
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△251	△422
定期預金の払戻による収入	1,000	78
有形固定資産の取得による支出	△20,919	△27,387
有形固定資産の売却による収入	76	8,077
投資有価証券の取得による支出	△339	△717
投資有価証券の売却による収入	69	37
貸付けによる支出	△150	△21
貸付金の回収による収入	60	19
その他	569	△418
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,884	△20,755

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	12,877	△7,578
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	—	12,000
長期借入れによる収入	4,721	11,758
長期借入金の返済による支出	△5,256	△12,487
社債の発行による収入	—	15,000
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△3	△2
子会社の自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,557	△2,769
非支配株主への配当金の支払額	△372	△462
その他	△209	△169
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>9,198</b>	<b>5,289</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57	△175
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△284</b>	<b>△583</b>
現金及び現金同等物の期首残高	40,259	40,728
<b>新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>485</b>	<b>4,970</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,459	45,115

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より連結決算の開示内容の充実およびグループ経営の強化を図るため、前連結会計年度において非連結子会社でありました大同磁石(深圳)有限公司、下村特殊精鋼(蘇州)有限公司、大同凱思英鑄造(蘇州)有限公司、フジホローバルブ(株)、Daido Kogyo (Thailand) Co., Ltd.、ORIENTAL SHIMOMURA DRAWING(M) SDN. BHD.、他22社を連結の範囲に含めております。

また、上記の理由により前連結会計年度において持分法非適用関連会社でありました3社を、第1四半期連結会計期間より持分法の適用の範囲に含めております。

なお、当第2四半期連結会計期間より前連結会計年度において連結子会社でありました1社を清算により連結の範囲から除外しております。

## (セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	102,048	92,660	55,426	12,652	6,856	269,643	—	269,643
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	36,874	9,149	14,063	1,101	6,023	67,212	△67,212	—
計	138,922	101,809	69,489	13,753	12,879	336,856	△67,212	269,643
セグメント利益	2,138	11,401	1,134	753	1,336	16,764	△11	16,752

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	97,117	84,693	49,928	12,361	8,375	252,476	—	252,476
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30,643	8,115	11,534	462	6,752	57,509	△57,509	—
計	127,761	92,808	61,463	12,824	15,128	309,986	△57,509	252,476
セグメント利益	3,215	6,946	620	1,524	1,409	13,715	△3	13,711

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足説明資料

## (1) 当第2四半期のセグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	2019年9月 第2四半期	前年同期差 増減額 (増減率)	2019年9月 第2四半期	前年同期差 増減額
特殊鋼鋼材	97,117	-4,930 (-4.8%)	3,215	1,076
機能材料・磁性材料	84,693	-7,967 (-8.6%)	6,946	-4,455
自動車・産業機械部品	49,928	-5,497 (-9.9%)	620	-514
エンジニアリング	12,361	-290 (-2.3%)	1,524	770
流通・サービス	8,375	1,519 (22.2%)	1,409	72
調整	—	—	△3	7
計	252,476	-17,167 (-6.4%)	13,711	-3,041

## (2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	2019年9月 第2四半期	前年同期差 増減額 (増減率)
売上高	252,476	-17,167 (-6.4%)
営業利益	13,711	-3,041 (-18.2%)
営業外損益	△0	-817
経常利益	13,711	-3,858 (-22.0%)
特別損益	3,774	3,774
税引前純利益	17,485	-84
法人税等	5,717	22
非支配株主に帰属する 当期純利益	511	-605
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,257	498 (4.6%)

(鋼材売上数量(単体) 625千t、前年同期差 48千t減)

## (3) 当第2四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売価格は正	24	1. 販売数量減少	60
2. 原燃料等市況	7	2. 変動費の悪化	6
3. 新規連結	5	3. 内容構成差他	4
4. 固定費の改善	3	4. 営業外損益	8
計(a)	39	計(b)	78
		差引(a)-(b)	-39

(参考：原料・為替市況)

	2018年9月 第2四半期	2019年9月 第2四半期
H2 建値 (千円/t)	29.9	23.3
ニッケル(LME) (\$/1b)	6.3	6.3
為替レート(TTM) (円/\$)	110.7	109.6

## (4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2019年 3月末	当第2四半期 2019年 9月末	増減	科目	前期 2019年 3月末	当第2四半期 2019年 9月末	増減
流動資産	313,081	306,852	-6,228	負債	332,557	322,692	-9,864
現預金	41,734	46,449	4,715	営業債務	87,361	70,040	-17,321
営業債権	132,800	123,651	-9,149	有利子負債	174,998	185,536	10,537
たな卸資産	132,546	131,004	-1,541	その他	70,196	67,116	-3,080
その他	5,999	5,746	-253				
固定資産	337,616	344,260	6,643	純資産	318,140	328,419	10,279
有形固定資産	226,078	240,863	14,785	株主資本	267,106	278,719	11,612
無形固定資産	1,502	1,487	-14	その他の包括利益 累計額	18,402	14,557	-3,844
投資その他の資産	110,035	101,908	-8,126	非支配株主持分	32,631	35,142	2,511
資産合計	650,697	651,112	415	負債純資産合計	650,697	651,112	415

## (5) 予想セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	予想 2020年 3月期	前期差 増減額 (増減率)	予想 2020年 3月期	前期差 増減額
特殊鋼鋼材	187,000	-20,744 (-10.0%)	8,500	2,501
機能材料・磁性材料	166,000	-18,553 (-10.1%)	14,500	-6,194
自動車・産業機械部品	98,000	-11,929 (-10.9%)	1,000	-1,308
エンジニアリング	25,000	-2,528 (-9.2%)	2,500	208
流通・サービス	17,000	3,500 (25.9%)	2,500	-27
調整	—	—	—	5
計	493,000	-50,255 (-9.3%)	29,000	-4,815

(鋼材売上数量(単体) 1,234千t、前期差 115千t減)

## (6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 2020年 3月期	前期差 増減額 (増減率)
売上高	493,000	-50,255 (-9.3%)
営業利益	29,000	-4,815 (-14.2%)
経常利益	29,000	-5,343 (-15.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,500	317 (1.5%)

## (7) 予想経常利益増減要因(前期対比)

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況	97	1. 販売数量減少	109
2. 新規連結	8	2. 販売価格下落	27
		3. 変動費の悪化	9
		4. 内容構成差他	7
		5. 固定費の増加	1
		6. 営業外損益	5
計(a)	105	計(b)	158
		差引(a) - (b)	-53

(参考：原料・為替市況)

	前期 2019年3月期	予想 2020年3月期
H2建値 (千円/t)	28.7	21.6
ニッケル(LME) (\$/1b)	5.9	6.9
為替レート(TTM) (円/\$)	111.1	107.3

## (8) 設備投資額(工事ベース)および減価償却費

(単位：百万円)

	前期(2019年3月期)		当期(2020年3月期)		増減額	
	上半期	通期	上半期	通期予想	上半期	通期
設備投資額	15,027	34,413	22,092	37,500	7,064	3,086
減価償却費	11,453	23,171	12,022	24,500	568	1,328

(参考) 業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想 2020年3月期
	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	
売上高	460,577	445,122	505,219	543,255	493,000
営業利益	24,432	25,513	36,218	33,815	29,000
経常利益	25,108	26,373	36,130	34,343	29,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,746	16,386	23,920	21,182	21,500